

# 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



宮坂 圭太  
(福岡歯科大学)

「**変わらないもの、**」

われわれ1期生が福岡大キャンパスに入学したのが、今から37年前の昭和48年だった。まわりには畑以外に何も無いところに大学だけがあった。現在は娘が同じキャンパスで学んでいる。最近、実習室を見学する機会があったが、設備は当時とは比べようがないほど新しく充実している。モニターがひとりひとり用意され、教官のデモを見るのに、周りを取り囲み椅子の上に肩を並べてみる事はもう無いであろう。

時代は新しく変化していくばかりである。診断能力の向上は目を見張るものがあるが、われわれの頃と少しも変わらないものもある。抜歯や根管治療、歯の切削形成、義歯作成などの技術についての根幹は何も変わっていないと思う。歯科医は技術屋さんの要素も強い。どんなに技術が進んでも、ロボットが

自動で義歯を作成する日が来るとは考えられない。われわれ歯科医は心を持って患者さんの治療に向かって、共に支えあう関係でありたい。それが「かかりつけ歯科医」としての道である。

昨年、自動車レース(F1)から撤退する記者会見の場でトヨタの豊田章男社長が、「小さくても腕の良さで支持される『町の歯医者さん』のような会社になりたい」と発言した。歯科医院がこうに評価されていたのかと改めて考えさせられた発言だった。車づくりと同様に歯科医師にも、高い安全性と品質が要求される。

患者さんと歯科医の立場は時代が変わろうと、変わることはない。患者さんの声に耳を傾け、腕の良さで支持される「町の歯医者さん」と評価されるよう、歯科界全体で努力していけたらと思う。



佐々木 次郎  
(福岡歯科大学)

「**心**」

わがまま放題に育った我が子を送り出し、あっという間に3年が経過していました。と同時に父兄後援会副会長という大役をまかされた私も知らない間に2年が経過していました。

この新しい環境の中で、娘も私もまわりの方々に支えられ試行錯誤しながらここまでやってこれたというのが実感でございます。

近年、ネット社会、うつ病、自殺など頻繁に聞かれるこの言葉の意味を私達はどのように理解すればよいのでしょうか。

「情報だけは知りたくなくても真偽もわからないのに入り込んでくる中で、何を信じ、何を目標に生活していけば良いのか……かつてバブル全盛期を経験した私達親世代は今の時代からするとどこか変だ。」とある人が言いました。確かにあの頃は、今より活気があったし、後先考えず行動してもどういかなかった。そんな時代だったような気がします。

平成の時代に育った子供達は、私達が心配するよりもずっと堅実的で意外に消極的のようです。

その時代にあった生き方をするのが望ましいでしょうが、いつの時代にも決して変わらないもの、それは「心」だと思うのです。何をしても心があるのではないのでは、必ず結果が違ってきます。私達は歯科医師である前に、心をもった一人の人間であるということに常に自覚なくてはならないと思います。このことを子供達に押しつけてではなく伝えていかなくてはなりません。

そして決して負けることのない強い心を持ってほしいと切に願います。生きていくのが大変厳しいこの時代、心に余裕のある生活を送るには、一日の大半を占める仕事が自分にとって生きがいを感じるものであり、自信につながるものであったらそれは何とすばらしい人生でしょうか。私と同じ職種につくであろう我が子に痛切に願うのは私だけではないと思います。

最後になりましたが、常に子供達のサポートを誠心誠意やったださる教授の先生方、その他、事務方の皆様、父兄を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

## 福岡歯科大学医科歯科総合病院 ホームページをリニューアル

7月9日、福岡歯科大学医科歯科総合病院ホームページはトップページを中心としたリニューアルを行いました。今回のリニューアルは、昨年7月の大学ホームページリニューアルに引き続いての第2弾となります。より見やすく、分かりやすいホームページにするためのデザイン変更や、より迅速な情報提供が行える機能の追加等を行いました。

今後も患者様や医療関係者の皆様、そして地域の皆様方によりよい情報を提供できるよう努力してまいります。

福岡歯科大学医科歯科総合病院  
トップページ

<http://www.fdcnet.ac.jp/hos/index.html>



福岡歯科大学医科歯科総合病院 トップページ

## 日本一を目指して!

本学・荒川 周幸臨床教授のご尊父荒川徳政氏が代表を務める日昇漁業(長崎県対馬市)の定置網で、7月13日、全長3メートル、胴回り2メートル30センチ、重量456キロの巨大クロマグロが水揚げされ、話題となりました。出荷された東京・築地魚市場での450キロ以上のまぐろ水揚げは国内では初のこと。

本学も、口腔医学の確立を旗印に、日本一の医療・保健・福祉の総合学園を目指して引き続き改革に取り組んでいきたいと思ひます。

水揚げされた巨大クロマグロと荒川徳政氏

